

古装电视剧（中国時代劇）における
「生と死」「薬と毒」

宮崎学園短期大学 現代ビジネス科

山口 葵

YAMAGUCHI Aoi

目 次

I	はじめに	3
II	中国時代劇について	3
	1. 中国時代劇の種類	
	2. 中国時代劇「山河令」について	
III	中国時代劇に現れる「薬」「毒」「治療」	4
	1. 「薬草」の使用の特徴	
	2. 「薬」「毒」に精通した人の役の特徴	
	3. ファンタジーに出てくる「気功」	
V	「毒」と「薬」は表裏一体	5
VI	「生」と「死」について	6
	1. 「生」にかかわる「食」とドラマでの使われ方	
	2. ドラマに表れる民衆と「食」	
	3. 「死」について	
VII	おわりに	8
	【謝辞】	
	【引用文献・サイト】	
	【参考文献・サイト】	
	【参考とした作品一覧】	

I はじめに

中国時代劇は、日本でも多くのファンを持っている。筆者もそのうちの一人である。ある時から夢中になって視聴していたが、初めは衣装の豪華さや俳優のきれいさだけを追っていた。しかし、いくつかの作品を見ているうちに、中国ドラマの特徴のようなものが見えてきた。例えば、日本や韓国の作品と違い、色合いが鮮やかで、セットもスケールが大きい。日本の時代劇は全体的に地味で、韓国は日本と中国の中間にあるような印象だった。

筆者はこれまでに、50を超える作品を見てきたが、ストーリーを見ていくと、決め手の場面で「咯血」「吐血」「毒」などが登場し、物語の転換に使われていることが多いように思った。そこで、これを仮説として中国時代劇を中心に登場する「咯血」「吐血」「毒」「薬」を中心に、ドラマでのストーリー展開にどのような影響を与えているかを中心に考察することにした。また、作品に出てくる病気の治療や食に関することも調べたいと思う。

本稿では「中国時代劇」を「ドラマ」と表記する。

II 中国時代劇について

中国時代劇は中国語（簡体）では「中国历史剧」中国語（繁体）では「中國時代劇」と訳されるが、インターネットサイトでは「古装电视剧」とされていて、どちらかといえば、古代衣装（コスチューム）を使ったテレビ劇と近いような意味合いで使われていて、史実に基づいたドラマとは違う意味があるようだ。研究では、「古装电视剧」の翻訳を使用することにし、歴史的史実に基づいたドラマは扱わないことにした。

1. 中国時代劇の種類

「古装电视剧」には様々な種類がある。4000年に及ぶ長い歴史を持つ中国は、時代劇ドラマの題材の宝庫。史実に基づく本格時代劇から、神話や伝説に着想を得たファンタジーなど、毎年幅広いジャンルの作品が次々と生み出されている。急成長する中国経済を背景に巨額の製作費が投じられることも多く、そのクオリティの高さも人気の理由のひとつである⁽¹⁾。

- 1) 武侠剧「任侠物劇」：正義感に熱くて、武術の優れた主人公が悪者を倒していく冒険時代劇のこと。
- 2) 历史剧「歴史劇」：史実に基づく本格時代劇から、伝説に着想を得たもので幅広いジャンルの作品がある。
- 3) 神话剧「神話劇」：古代中国神話に登場する神または伝説上の帝王を主題とした時代劇のこと。
- 4) 魔幻剧「神秘劇」：ファンタジー劇のこと。
- 5) 宫斗剧「宮廷権力闘争劇」⁽²⁾：宮廷内の覇権争いを主題とした劇のこと。

- 6) 穿越劇「オカルト劇」：超自然現象や神秘的現象を題材にした劇のこと。
7) 宮廷劇「宮廷劇」：宮廷を舞台とした劇のこと。中国ドラマといえば「中国宮廷劇」と言えるほどアジア中で高い人気を誇る⁽³⁾。



「山河令」のワンシーン 1

<https://www.cinemart.co.jp/dc/c/woh.html>

2. 中国時代劇「山河令」について

原題「山河令」2020年製作、全36話である。

BS11の番組紹介「余命三年の元暗殺組織の首領と謎の男とが出会い、一夜にして無敵になれると言われる武庫の鍵「琉璃甲」をめぐる壮大な争いに巻き込まれていく。⁽⁴⁾」

Ⅲ 中国時代劇に現れる「薬」「毒」「治療」

古代中国では、毒や薬は高価なものであり、一般の庶民が簡単に購入できるものではなかった。そのほか、氷や生地なども簡単に手に入れられなかった。特に製氷機などがなかったため、氷は高価なものだった。看病に氷を使うことができる階級はごく限られた人たちだった。

1. 「薬草」の使用の特徴

多くのドラマを見てしらべたところ、時代劇ではリアルな薬草が出てくるがファンタジーは架空の薬草であったり、火や動物関連のものでできていることがほとんどだった。

2. 「薬」「毒」に精通した人の役の特徴

「薬」や「毒」に精通した役は主人公や主人公の友人だったり深い関係であることが多い。これは、主要人物に何かあったときに重要な役割を果たすため、ストーリーの転換に大きな位置を占めていることがわかった。

成化十四年	裴淮	唐泛(主人公)の親友
琅琊榜	蔣晨	梅长蘇、蘇哲、林殊(主人公)の親友
琅琊榜	静嬪	靖王、蕭景琰(主人公の親友)の母
山河令	大坐、烏鷄	周子舒、阿絮(主人公)の古い友
陳情令	温情	魏無羨の友達の姉

図1. 「薬」「毒」に精通した人物の関係性
筆者作成

3. ファンタジーに出てくる「気功」

ファンタジーには「気功」などを使って治療する場面が多い。気功とは、漢方・中医学的な観点からすると、人間は誕生する際、両親から精（せい）という物質を受け継ぐ。精は生命エネルギーの結晶のような存在であり、この精から生み出される気が「先天の気」と呼ばれるものである。そして飲食と呼吸法などで自分の中にとりこんだ自然界からの「清気」によって生まれる気を「後天の気」と呼ぶ。

気功の考え方は日本にも伝わっていて、悪い気が当たると自然に治ることはない、とされていた⁽⁵⁾。これが風邪の原型だったようだ。

IV 「咯血」と「吐血」の違いとドラマでの役割

「血を吐く」シーンは中国時代劇、ファンタジーでは欠かせない。ドラマの有名なシーンを形成するこの描写は各作品のなかで大切な役割を担っている。次に、「血を吐く」シーンがドラマでどのような役割を担っていたかを考察した。

①負傷

敵と戦った時、戦場で負傷した際に物理的攻撃や気功など見えない攻撃でも血を吐く。内臓などに大きなダメージがあったように思えるこの描写は外からの刺激で血を吐いている。「吐血」になる。

②体調不良

病を患っていて血を吐く。

咯血→肺や気道の病気による出血

吐血→食道や胃、十二指腸などの消化器系の病気による出血

③毒

「口にしたものが毒であること」、もしくは「毒が効いているいること」を示す。

消化器官が毒に蝕まれて出血しているため「吐血」になる。

④精神的なダメージ

ドラマでは大きなショックを受けたことでも吐血する。怒り、悲しみ、驚きなどの負の感情が体を駆け巡った結果、体が耐えられなくなったことにより血を吐く。

怒りの場合はそのまま憤死することもある。

V 「毒」と「薬」は表裏一体

日本人の生活にも浸透している漢方薬は、自然界に存在する植物、動物、鉱物など、生薬とよばれる原料をいくつか組み合わせて調合した中国古代からの「薬」である。ただし同じ生薬でも使う部分や調合によって違う効果が出るので、漢方薬は「毒」にも「薬」にもなるという特徴がある。例えば、トリカブトという植物は強烈な「毒」を持っているが、部分によっては鎮痛作用のある「薬」としても使える。麻酔作用のあるチョウセンアサガオは「薬」の原料として使えるが、間違っ食べるとめまいや幻覚を引き起こす「毒」となる。

「山河令」では、毒蝮など「毒」を武器にする刺客が登場したり、生身の人間に毒を与えて作られた「薬人」という化け物が登場したり、「毒」が欠かせない武器となっている。また江湖でも高い医術を継承することで知られ神医谷の弟子たちは時と場合によって「毒」と「薬」を使い分ける。周子舒もその一人である。ドラマで「毒」が使われる場合、それを解毒する「薬」も用意されているのがお約束で「毒」と「薬」は表裏一体の関係にある。

ドラマによく出てくる丹薬について調べてみた。丹薬とは、不老不死を求めた皇帝たちが実際に服用していた硫化水銀の鉱物から作られた「薬」で、現代では有害だったことが分かった。ただし、ドラマの世界で丹薬といえば、様々な神秘の力を宿しているものとして描かれている。「山河令」でもこの丹薬が、当初考えられていた薬効とは違う思わぬ意図で使われることになる。



「山河令」のワンシーン2

※赤い容器に丹薬が入っている

<https://www.cinemart.co.jp/dc/c/woh.html>

VI 「生」と「死」について

1. 「生」にかかわる「食」とドラマでの使われ方

ドラマで出てくる「生」について考えてみた。生きる上で大切な「衣食住」でいちばん重要なのが「食」であるため、陛下や国王は兵糧を確保する必要がある。ドラマでよくあるシーンでは、食料不足からくる争いである。不作や兵糧による飢餓が増えてくると各地で争いが起きたり、国や治めている地域から逃げる人たちもいた。そのため各地域を治めている人や六部（吏部、戸部、兵部、刑部、工部）などから上奏が絶えなくなる。

「刺客列伝」では、食糧不足から反乱を起こさせ、戦もできない状況まで持っていくために、高値で狩猟したものを購入することを広めて畑仕事をやめさせる、という戦略を使って国を落とした王がいた。

2. ドラマに表れる民衆と「食」

親がいない子どもたちは欠けた茶わんを持ち、身なりの良い人に「おめぐみを」とお金をもらうか、どこかの金持ちに売られることが多い。それぐらい苦しい生活を送っている当時の中国の身分の差の大きさが描かれている。陛下や皇帝が来ている1着分で民は「1年以上食に困ることがない」といわれる。支配者の衣服は金や高級な素材が使われており、見た目は「威厳」を表すためにとても重要だったことがわかる。ドラマでも貧しい民を出すことで支配者の「威厳」を大きく見せていて、映像効果を出している。

3. 「死」について

ドラマでは「死」を登場人物の絆の深さを表すために用いることが多い。一生とともに誓った相手に命を捧げることがほとんどで、特にラブロマンスでは「知己」と呼ばれる関係性の二人に多くみられる。

ドラマでよくあるシーンでは以下の3点が特徴としてあげられる。

- ①自分の大切な人を守るために命を張る。
- ②戦や病気の相手を救うために自分を犠牲にする。
- ③自分よりも相手を優先させる。恋人や夫婦よりも関係が深いふたりが互いに命を捧げる。

図2はドラマ「山河令」に現れる「死」の場面展開と登場人物の関係性をまとめたものである。「血を吐くこと」や「死」はいずれも愛情・友情の証であり、人と人との深い関係を表現している。大切な人の死はドラマの展開に大きく影響している。

皇族が亡くなったときは春節などのお祝いごとは簡素に行われる。国や後宮なども歌や踊りなども一年ぐらいは禁止された。ドラマでのワンシーンでは、「琅琊榜」で太后が亡くなった時に国葬をした。その年の春節は質素にしたが、太后の死から半年も経っていない時に禁足中の皇太子が踊り子たちを呼んで騒いでいたの

を陛下が目撃し、怒りを買っている。



位牌は後漢時代に丁蘭という男性が亡き両親の木像を作って拜んだことが起源とされている。中国時代劇では祖先や一族の位牌を安置した「祠堂」という部屋が出てくることが多い。武侠ものではそこに義兄弟の位牌を並べるのがお約束



中国では死者をあの世に送るときにお金に困らないようにという願いを込めて、現代でも金銭を模した紙のお金「紙銭」を焼いたり、葬列で巻いたりする風習があります。「山河令」では黄色い丸い形に切った「紙銭」が登場しますが、これは「金」を模したものの「冥銭」とも言う。

図 2. ドラマに登場する「死」の儀式
筆者作成

VII おわりに

中国ドラマが好きで始めた研究だったが、当時の中国の生死観、疾病観などを中心に作品を検証していくうちに、日本とは違った価値観が感じられるようになった。今回の研究では、薬と毒の関わりと役割についてドラマでの役割を考察したが、仮説のとおり、「薬」「毒」「死」などは、そのほとんどがドラマの展開や登場人物の人生に大きくかかわっていることを確かめることができた。

古代中国の治療法は薬物治療がほとんどであったが、古代中国には多くの科学治療が存在していた。しかしドラマには全く反映されていなかった。ファンタジーに分類されるドラマは架空の薬草なども登場しており、実際の治療法が反映されないのは、視聴者の興味を引かないためかもしれない。この研究を通して、多くのドラマを見直したが、きれいな衣装を見て憧れるだけでなく、物語の背景や展開まで深く見ることができたと思う。



余命わずかで五感がほとんどない状態の阿架を自分の命を引き換えに救って白髪になった老温



とても忠誠心のある部下は
絶対に主を守る。



老温が死んだと聞いて
シオンが血を吐く阿紫



精神的シオンで
吐血するのは
愛情・友情の
印で、その人と
の深い関係を
表現している。



大切な人の死は
大きく影響する!!

図3. 「山河令」に登場する「死」

筆者作成

<https://www.cinemart.co.jp/dc/c/woh.html>

【謝辞】

研究にあたり、薬に関する資料を提供してくださった藤田医科大学尾崎隼人先生に厚く御礼申し上げます。

【引用文献・サイト】

- (1) <https://www.hikaritv.net/sp/huaryu-historical-drama/index.html>
「ひかり TV」中国時代劇特集 2022.10.1 参照
- (2) <https://www.welovek.jp/seika/>
『成化十四年～都に咲く秘密～』ドラマ公式サイト」2022.10.1 参照
- (3) <https://korea.kaigai-drama-board.com/krank/ranking/79>
「K★Rank」2022.10.1 参照
- (4) <https://onl.tw/U7WLxsu>
「BS11 中国時代劇 山河令」2023.2.10 参照
- (5) 丹波康頼 (984) 『医心方 卷三風病篇』筑摩書房、pp.17-18

【参考文献・サイト】

- ・ <https://www.cinemart.co.jp/dc/c/woh.html>
「Cinem@rt 山河令」2023.1.23 参照
- ・ 丹波康頼（984）『医心方 婦人病篇』筑摩書房
- ・ 水巻中正（1991）『くすりの文明誌』かんき出版

【参考とした作品一覧】

- ・ 「陳情令」 第 50 話
- ・ 「蒼穹の剣」 第 45 話
- ・ 「刺客列伝」 第 56 話
- ・ 「琅琊榜」 第 54 話
- ・ 「成化十四年」 第 48 話
- ・ 「将軍の花嫁」 第 30 話
- ・ 「山河令」 第 37 話